

未来のために、いま選ぼう。



スイスの観光都市「ツェルマット」を事例にしながら、ニセコの未来を考えます。

ニセコ町環境モデル都市 第2次アクションプラン

【2019年度～2023年度】

<取組2-1> 移動距離の短い街区の形成

総合計画やまちづくり、都市計画に関連する計画等を策定する際には、「移動距離の短い街区」の形成を常に配慮し、将来的に集住化、コンパクト化された町を実現する。アクションプラン対象期間中にどのような施策が有効か、実現できるのかの検討を進める。



ドイツ在住のジャーナリスト。
日本で土木工学部、ゼネコン勤務を経て、環境問題を意識し、ドイツ・フライブルクへ留学。
フライブルク地方役場（ブライスガウ・ホッシュバールツバート郡）建設局に勤務の後、2002年から独立し、ドイツの環境政策、都市政策、エネルギー政策などを日本に紹介する。

講師 村上 敦 氏

ニセコ町環境モデル都市戦略アドバイザー
ドイツ在住環境ジャーナリスト
一般社団法人クラブヴォーバン代表

【問い合わせ窓口】

ニセコ町役場企画環境課環境モデル都市推進係

Mail kankyo-e@town.niseko.lg.jp Tell 0136-44-2121 FAX 0136-44-3500

niseko

なぜ必要なのか？その可能性を徹底議論！！

町
ニセコ
コンパクト化
計画

この春、ニセコ町は第2次環境モデル都市アクションプランを策定し、持続可能なまちづくりに向けて新たな一步を踏み出しました。

その計画の中で「移動距離の短い街区」を形成していくという構想をご存知でしょうか。

なぜニセコ町がコンパクト化をめざす必要があるのか？果たして本当にそれは必要なのか？スイスの観光都市「ツェルマット」の事例を見ながら、みなさんと議論を始めています。

とき

2019

11/19

火曜日
TUE

じかん

18:00～20:00

ところ

町民センター小ホール

まちの未来を方向付ける大事な講座です。

ぜひ、多くの町民の皆様のご意見をお聞かせください。